

# 社会科（地理的分野）学習指導案

## 1 単元名

「アジア州～水問題から考えるアジア州の地域的特色～」

## 2 単元の考察

### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領の地理的分野「(2) 内容 B 世界の様々な地域 (2) 世界の諸地域 ①アジア」に対応し、設定した。学習指導要領では、身に付ける知識として、「世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なること」、「世界の各州に暮らす人々の生活を基にして地域的特色を大観し、理解すること」が挙げられている。内容の取扱いでは、「設ける主題については、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる事象とともに、その州で特徴的に見られる地域的課題と関連づける」、「取り上げる地球間課題については、地域間の共通性に気付き、我が国の国土の認識を深め、持続可能な社会づくりを考える上で効果的であるという観点」と明記されている。そこで、本単元では国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の「6 安全な水とトイレを世界中に」に示される世界の水問題を地球的課題として取り上げ、アジア州の地域的特色に迫れるように構成した。

本単元で扱うアジア州は、ユーラシア大陸に位置しており、世界全体の面積の23%を占め、人口も43億人を超え、全体の約60%となっている。気候面では、四季があり温暖な温帯である東アジアから、雨季と乾季があり短時間の集中的な豪雨が起る熱帯である東南アジアや南アジア、ルブアルハリ砂漠が広がり乾燥した西アジア、世界最高の標高を誇るエベレストがあるヒマラヤ山脈辺りでは、高山気候と多様な気候がみられる。また、産業の面から見ると世界中へアジア製品が拡大していることからわかるように、アジア州の国内総生産(GDP)は世界全体の35.1%にあたる25,8兆ドルとなっている。(2015年世界人口年鑑) 農業では、東アジア・東南アジアで盛んに行われている。日本では全国で稲作が行われ、気候や地形に合わせた畑作も行われている。2016年の国連食糧農業機関の調べによると、コメの生産量(モミ量)の多い国で中国、インド、インドネシア、バングラデシュ、ベトナムと上位5か国をアジア勢が独占している。コメの生育環境に適しているかどうかといった気候面での影響も大きいことが考えられるが、赤道周辺の国々が上位を占めている。また工業では、2013年世界国勢図会によると、船舶・テレビ・パソコン・携帯電話(スマートフォン含む)・デジタルカメラの生産量上位3位にアジア州の国がのべ14か国にのぼり、我々の生活の中でもアジア諸国で製造された工業製品が数多く存在している。各関係団体による調査では、自動車・二輪自動車でも、のべ5か国と工業力の向上が顕著にみられる。一方で安価な人件費から各国の多国籍企業が多くアジア州へ進出している現状がみられる。ただ、数年前にはタイで発生した洪水被害によりタイ国内の工場での生産が中止に追い込まれるような事態もみられた。日本では、日本メーカーの製品が日本国内で在庫切れを起し、入荷時期が未定の事態も発生している。すなわち、世界の工業がアジア州の国々に頼っている実態がある。

これら産業の発展に欠かすことができないものが、「水」である。「水」は産業のみならず、人間が生活していくためには必要不可欠のものである。「グローバルリスク報告書 2015年版」では、①人口増加の二倍の速度で水利用が増大し、2025年には世界人口の三分の二が水ストレスに曝される。②世界人口の九人に一人が改善された飲み水を求められず、毎年350万人が命を落としている。③2000年～06年の間に旱魃、洪水、高潮の影響で30万人にも上る人々が亡くなっている。と報告され、身近に感じられる深刻なグローバルリスクの象徴として、水危機が注目されている。ましてやアジア州では、世界人口

の 60%の中、世界の水資源賦存量は 36%しかなく、6 州の中で圧倒的な少なさである。(国土交通省資料より) すなわち世界の中でも、この水資源の問題はアジア州において顕著にみられる。アジア州でみられる水危機の原因として考えられるのが 2 つあり、1 つ目が水資源そのものの不足である。アジア州では、バングラデシュ・中東諸国・インドで著しく欠乏しており、水不足が深刻化する中、各国政府がどのように管理をしていくかが課題となっている。2 つ目の問題は、安全な水の確保である。水資源そのものは足りているものの、化学物質の流出、下水処理施設の未整備などの原因により水質がひどく汚染され、その水源を利用できない環境で人々が生活している場合も多くある。今回のグローバルリスク報告書では水危機として扱っている主要なものは、水不足と水質汚染である。しかし、水不足と水質汚染から生じる対策やその対策によってさらに生じた諸問題を含めて、本指導致案では水問題と表している。

そこで、本単元ではアジア州を大観する学習をふまえ、「水問題」を主題として、アジア州を捉えさせたい。水問題から考えれば、人口が多いこと、農業や鉱工業などが盛んで経済発展を遂げているという、アジア州の地域的特色にせまれるであろう。例えば、中国では、黄河・長江といった大河が存在するが、都市部での人口の増加や西部大開発などによる工場の増大による水不足が発生している。「南水北調」の考えで長江の水を取水し、北部の地域の北京などの慢性的な水不足解消に向け、工事が進められている。更には、地下水の取水量が年間涵養量を上回るため、各地で地盤沈下が発生している。これらの原因として考えられているのが、人口増加・工業化による使用量の増加である。また、年間 2300mm 程度の降水量がある東南アジアのシンガポールでも水については喫緊の問題である。シンガポールでは家庭用水、工業用水として必要な水の約半分を水資源の豊かなマレーシアからの輸入に頼っていた。日本以上の降水量を誇るシンガポールでさえ、狭く平坦な国土では雨水を貯水することが難しい。2000 年にマレーシア側から水の価格を 100 倍にしたいと要求されたことをきっかけに、シンガポールは自給へと方針を転換させ、自給率の向上のための政策を繰り返していった。その一つが、ニューウォーター事業である。下水処理後の水に紫外線殺菌をして飲料レベルにまで水質改善をし、飲用水として利用している。さらに大型の海水淡水化プラントを保有するなど造水事業に成功した。現在シンガポールから水不足や水供給に課題を抱えている中東・オセアニアに向け、経験や実績を提供している。また、南アジアのインドにおいては、日本の生活では不便することなく使用できているトイレが国を挙げた大きな問題となっている。2011 年のインド国勢調査では、家庭にトイレがある家は全世帯の 46%に過ぎず、トイレ不足の事態となっている。その反面、IT 産業の発展から、携帯電話を所有する世帯は 53%と上回る結果となった。原因として 2 つが挙げられる。1 つ目は、野外排泄は「快適、便利、健康にいい」という国民の「感覚・習慣」である。そのため、全人口のおよそ半分に及ぶ 6 億 6500 万人が野外での排泄行為を慢性的に行っている。野外排泄が原因で、し尿や糞便により生活環境が不衛生になり、生活用水の汚れへとつながっている。その結果、インドでは毎年 5 歳未満の幼児 14 万人が下痢によって死亡している。2009 年 10 月の WHO の報告では、世界での下痢による死者は 150 万人となっており、その約 1 割がインドでの死者ということになる。インド政府は、「寺院よりもトイレの設置が優先」と位置付け、「2019 年までに全世帯にトイレを普及させる」という目標を掲げているが、国民の「感覚・習慣」を変えることは、現状として極めて困難である。2 つ目は、男性の立場の強さにある。カースト制度の残渣や資金や政治を動かす立場にある人のほとんどが男性である。そのため、トイレ設置の意思決定をするのも男性となる。しかし、先にも述べたように男性は野外排泄で用を足せるが、女性はプライバシーを保つ場所を望むためそれができずにいる。そのため自宅の床で用を足し、その後掃除をする人やトイレへの不安から外出を控える人、学校へ通わない少女も少なくはない。日本では、インドの中学校へのトイレの設置を目的の 1 つとしたチャリティーが存在し、解決へ向けた支援が行われている。乾燥帯が広がる西アジアでは、水のあるオアシス周辺で農業が行われてきた。しかし、地下水を水源としたかんがい設備の整備や発達

により広大な砂漠に農場を作ることができるようになったが、地下水の枯渇の恐れから、水源を海水淡水化による造水へと切り替えた。これらの設備にかかるお金は石油の高騰によるオイルマネーによって賄われた。これまで貴重とされていた水が、全自動スプリンクラーとして 24 時間稼働し続け、砂漠に緑を茂らせるまでになった。しかし、近年アメリカでのシェールガスの採掘などにより石油価格の下落から、利益の減少につながっていた。そのため全自動スプリンクラーによる水の供給は徐々に停止し、生い茂った緑が再び砂漠へと戻ってしまい、砂漠にかんがい設備を設置してまで穀物を生産することを減らしていった。大学までの教育費や医療費の免除、住宅の無料提供など税金のない社会を作り上げているサウジアラビアなどの西アジアでもお金をかけすぎずに水を確保する方法が模索されている。

以上を踏まえて、本時となる第5時を次のように構成する。導入で、自分自身の生活と水の関わりについて考えさせるために、今日1日で水をどのように利用したのか振り返らせる。また日本人が1日に使っている水の量の平均値と他国の平均値を比較させ、自分たちの暮らしと水の関わりについて確認していきたい。実生活を振り返り、水問題について考えさせ、アジア州で発生している水問題を提示して、学習課題「各地の水問題は、どうして発生しているのだろうか」からアジア州の地域的特色に迫らせたい。展開部分では、導入で提示された水問題の発生場所がアジア州のどの地域にあたるのかを既習事項や補助資料から考えていく。例えば【地盤沈下】という水問題が発生した理由として、「使用量の増加」という考えを導き出すために、「中国の都市部と農村部の人口の割合の変化」を示したグラフを示して人口が集中していることに気づかせたり、「地域別の GDP」を示した地図を示して工業化が進んだりしているという要因を導き出すことができるであろう。このようにアジア州での水問題が発生した理由を、雨温図やグラフ、地図などの資料を活用して理由を考えていくことで【洪水】では雨量の多い地域があることや雨量が多いことがわかっていながらもインフラの未整備によって発生していることが考えられる。【川の汚染】では、ヒンドゥー教徒の沐浴や洗濯の様子から生活用水として利用されていること、補助資料から下水処理の未整備や人口増加による水質汚染、工業化による排水の汚染が見えてくる。【湖の干上がり】では、降水量の少ない気候や補助資料から農地の拡大による使用量の増加が見えてくる。ここからアジア州の地域的特色は、広大な面積から発展などの地域格差が見られるが、人口の増加が著しく、工業化によって産業が発展している地域であると考えられる。このように「水問題」からアジア州の地域的特色を捉えさせていきたい。

## (2) 生徒の実態

### ◎事前調査

① アジア州の各地域名を聞いて、思い浮かぶものを答えなさい。

東アジア	日本 12 中国 6 韓国 3 北朝鮮 東アジア杯 (サッカー) 発展し栄えている都市 環境問題 シャンハイ 拉致問題
東南アジア	島 2 貧しい 病気の流行 治安が悪い 気温が高い リゾート地
南アジア	インド 4 インドネシア 感染症 産業が進んでいる 熱帯
西アジア	サウジアラビア 2 テロ 2 イスラム教 国内紛争 人種差別 イスラム国
中央アジア	広い 3 モンゴル 2 人種差別 石油

② 産業の変化や人口集中、インフラ整備を要因にどんな問題が引き起こされると思いますか？

森林減少 7 地球温暖化 4 水不足 4 食料不足 3 電力不足 2 一部の地域の人口減少 2 貧富の差 2 公害 2 治安の悪化 環境問題 病気
---

- ③ 国際連合が定めていた SDG s（持続可能な開発目標）の中で、次に示す目標が挙げられている。この3つの目標に対する地球的課題にはどのようなものがあるか具体例を挙げて説明しなさい。

 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料不足 16</li> <li>・農作物が育たない 5</li> <li>・貧富の差 3</li> <li>・食料が行きわたらない 2</li> <li>・人口増加</li> </ul>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な水が飲めない 12</li> <li>・トイレがない 8</li> <li>・水道の未整備 6</li> <li>・汚い水を使い病気になる 5</li> <li>・川の汚染 3 ・出しっぱなしなどの無駄遣い 3</li> <li>・砂漠化 ・水不足</li> </ul>
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人種差別 21</li> <li>・貧富の差（個人・国） 4</li> <li>・政治を行える人と行えない人 ・カースト制 ・偏見がある</li> <li>・ミサイルや核兵器を持っている国とそうでない国がある。</li> </ul>

### 3 単元の目標

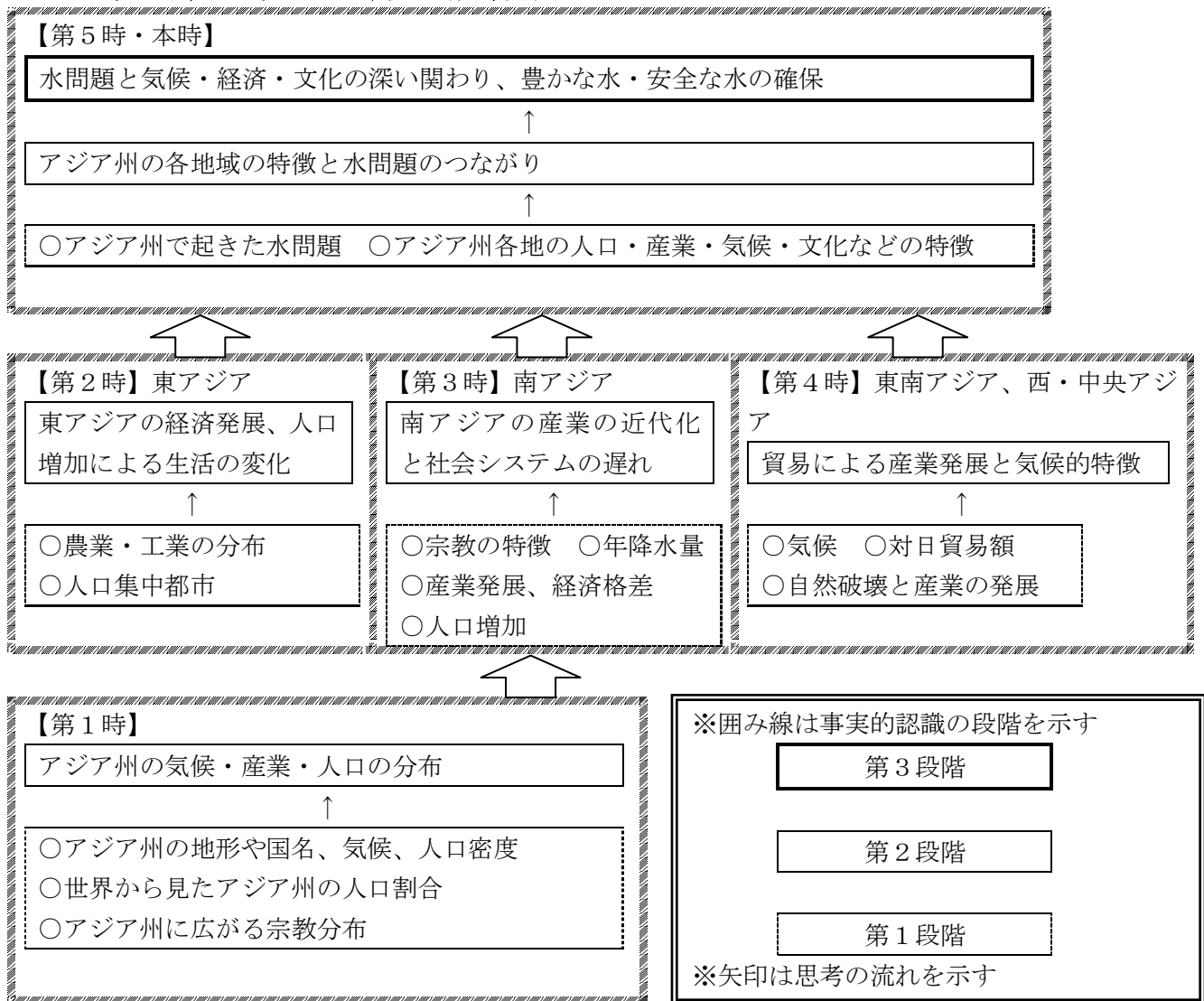
- ・アジア州各地に暮らす人々の生活に興味を持ち、水と生活との関わりについて、主体的に考えることができる。（主体的に学習に取り組む態度）
- ・水問題からアジア州の気候・産業・文化の地域的特色について考察することができる。
- ・地球的課題である水問題について、自分の意見を持ち、表すことができる。

（思考・判断・表現）

- ・世界地図や写真資料から、アジア州の特徴を読み取ることができる。

（知識・技能）

#### 4 思考の深化に対応した単元の指導計画



#### 5 本時

##### (1) 本時の目標

- ・水問題の発生理由について、意欲的に意見を持つことができる。

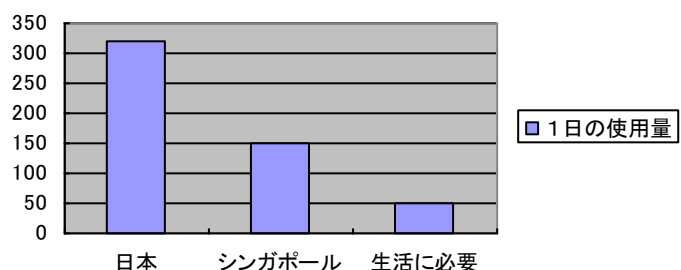
(主体的に学習に取り組む態度)

- ・アジア州の水問題について、気候・文化・産業などのアジア州の地域的特色に触れて考察することができる。(思考・判断・表現)

##### (2) 本時の「主体的な学び」

###### ① 1日の水の使用量 (国別)

日本の使用量が世界で必要とされている50Lの6倍以上の320Lにあることから、水資源の豊かな国であることと、水の困ることなく自分たちが生活していることに気付くことができる。



② タイでの洪水の様子

バスが走っているところの水位や歩行者の水位から洪水の様子を読み取ることができる。



③ 中国での地盤沈下の様子

トラックが横断歩道の前で、身動きとれない様子や左に傾いて落ちてしまっている様子から地盤沈下を読み取らせる。



④ インドのガンジス川の汚染

手前に浮かぶごみの様子や左側で頭を洗っている少年から水質汚濁を読み取ることができる。



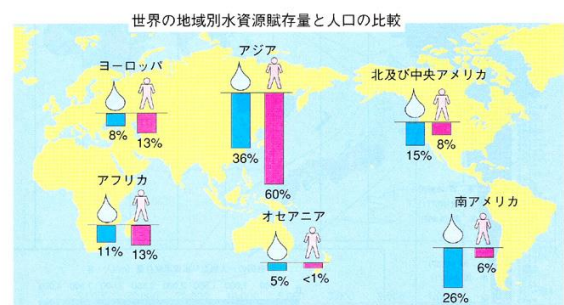
⑤ ウルミエ湖の干上がり

ボートが浮かんでいる様子から水が存在していた場所に現在水が消失していることに気付くことができる。



⑥ 世界各州の水資源賦存量と人口

他州との比較からアジア州の特徴は、人口が多いことが挙げられる。その割に使用できる水が少ないため、アジア州では水不足の状態であることがわかる。



(注) 世界アセスメント計画「World Water Development Report」のデータをもとに国土交通省水資源部作成



(3) 本時の「対話的な学び」

【洪水】

① これまでの既習事項から雨の多い地域で、東南アジアで発生していることを導き出すことができる。



② 堤防がない川

ある程度のまとまった雨が降ることは毎年の経験からもわかっている。その中でも洪水が発生してしまう理由は、インフラの未整備に原因がある。右の資料から河川が自宅のすぐ隣を流れており、危険と隣り合わせの中で生活を送っていることが読み取れる。洪水による浸水が起こる原因がこの資料から見て取れる。



【地盤沈下】

③ 資料の中から、水が浮き出ている様子から水への関わりを気付かせたい。凹んだ穴から水が出ており、地下水が関係することへと思考をつなげさせる資料である。



【川の汚染】

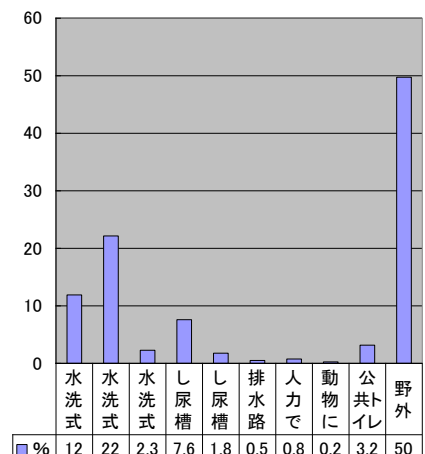
④ ガンジス川の沐浴

サリーを着用しながら入水している様子や水浴びをしている様子から、ガンジス川での沐浴の様子であると導き出すことができる。南アジアで、川の汚染が発生している理由については、以下の補助資料をもとに導き出させたい。



⑤ インドのトイレ事情

インドにおけるトイレ事情は、水洗式が全体の約 25% となっており、半数近くが野外で行っていることがわかる。野外で行われた糞便は、誰に処理をされるわけでもなく、そのまま放置され雨水とともに流れていく。結果的に川へと流れ込み、汚染へとつながっていることにつなげて考えることができる資料である。



【湖の干上がり】

⑥ ウルミエ湖の干上がり

乾燥した地形がみられることから雨の少ない地域であることが予想でき、乾燥している内陸の中央アジアや西アジアを導き出せる。



⑦ ウルミエ湖の縮小

1972年から2012年までは大きな変化は見られないが、2012年から14年にかけての干上がりの大きさが見て取れる。湖の水がなくなる理由を以下の補助資料から読み取らせたい。

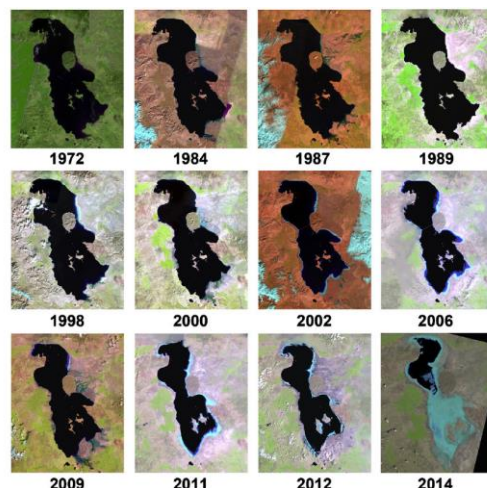


Fig. 4. Changes in area of Lake Urmia from October 1972 to August 2014, derived from Landsat imagery.

⑧ ウルミエ湖周辺の農地

ウルミエ湖周辺での農地の拡大が資料から見て取れる。乾燥した地域での農業のため、水を確保することが難しかった。農地の拡大により、ウルミエ湖の水の利用が増えたことに気付かせたい。



(4) 本時の展開

時配	学習内容と活動	留意点 (○) 及び評価 (◇)
導入 7分	<p>○自分自身の生活と水の関わりについて1日の水の使用例から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲んだ量</li> <li>・トイレに行った</li> <li>・お風呂に入った</li> <li>・歯を磨いた など</li> </ul> <p>○日本人が1日に使う平均的な水の量(320L)と世界で1日の生活で必要とされる水の量(50L)を比較し、水が豊富な中で生活していることに気づく。</p>	<p>○身近な暮らしで水を頻繁に利用し、大きく関わっていることに気付かせる。</p> <p>○1日の生活の使用量をスライドに示す。[本時の主体的な学び グラフ①]</p> <p>○水に恵まれた環境で生活を送っ</p>



	<p>○世界で起きている水問題について、具体的な例を考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲み水がない</li> <li>・ 水不足</li> <li>・ 洪水</li> <li>・ 台風などの浸水</li> <li>・ 水質汚濁</li> </ul> <p>○アジア州で発生した水問題を大型 TV に映し、どんな問題かを考え発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 洪水【東南アジア】</li> <li>・ 地盤沈下【東アジア】</li> <li>・ 川の汚染【南アジア】</li> <li>・ 湖の干上がり【西アジア】</li> </ul> <p>○アジア州のどの地域で起きているのか、発生場所を予測し、発表する。</p>	<p>ていることに気づかせる。</p> <p>○思い浮かんだものを自由な発想で発言させる。</p> <p>○水問題の事例を大型テレビにスライドで提示し、発生内容を確認させる。[本時の主体的な学び資料②～⑤]</p> <p>○自由な発想で発言させる。</p> <p>○大型テレビに提示した資料は、拡大紙に印刷し、黒板に残す。</p> <p>○全体で、どの地域の発生か確認させる。</p>
<p>展開</p> <p>15分</p>	<p>○学習課題を設定する。</p> <p><b>各地の水問題は、どうして発生しているのだろう。</b></p> <p>○これまで学習した資料をもとに水問題がその地域で発生した理由を班で考え、ワークシートに記入する。</p> <p>予想される反応</p> <p><b>【洪水】</b></p> <p><b>東南アジア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月雨量が多い地域だから</li> <li>・ <u>インフラ整備が間に合わないから</u></li> </ul> <p><b>【地盤沈下】</b></p> <p><b>東アジア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口が多く、使用量が増えたから</li> <li>・ 経済発展が増え、使用量が増えたから</li> </ul> <p><b>【川の汚染】</b></p> <p><b>南アジア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒンドゥー教の沐浴があるから</li> <li>・ 工業化が進んでいるから</li> <li>・ 人口が増加しているから</li> <li>・ <u>下水処理ができないから</u></li> </ul> <p><b>【湖の干上がり】</b></p> <p><b>西アジア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降水量が少ない地域だから</li> <li>・ 乾燥した地域で、利用量が増えたから</li> <li>・ 農業による利用量が増えたから</li> </ul>	<p>対話的学び (対 資料)</p> <p>対話的学び (対 教師、友人)</p> <p>○ワークシートを配布する。</p> <p>◇発生理由について積極的に意見を出すことができたか。</p> <p>○教科書、資料集、地図帳などを活用させ、これまでの学習を生かして考えさせる。</p> <p>○机間指導を行い、適宜助言する。</p> <p>○10分後に補助資料を班に配布する。[本時の対話的な学び②⑤⑧]</p> <p><b>【洪水】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堤防がない川</li> </ul> <p><b>【川の汚染】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インドのトイレ事情</li> </ul> <p><b>【湖の干上がり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウルミエ湖周辺の農地</li> </ul> <p>○机間指導中に、発表生徒を選び指名する。</p>

15分	<p>○机を前に向け、各問題が発生した理由を発表し、クラスで共有する。</p> <p>○それぞれの水問題で共通した発生理由を見つけ、ラインマーカーを引いたら、プリントに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される答え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気候に関するもの（降水量が多い、少ない）</li> <li>・ 人口に関するもの</li> <li>・ 経済発展に関するもの</li> <li>・ 社会システムに関するもの</li> </ul> </div>	<p>○「量的」問題と「質的」問題があることに気付かせる。</p> <p>○一面的な問題ではないことに気付かせる。</p> <p>○それぞれの地域の補足説明をする。</p> <p>【西アジア】 海水淡水化事業による淡水の確保</p> <p>【東南アジア】 シンガポールの水不足の事例（ニューウォーター事業、技術の輸出）</p> <p>【東アジア】 長江の水を北部へ運ぶ事業</p>
まとめ 13分	<p>○世界の地域別水資源賦存量と人口比較から水問題はアジア州にとって大きな課題であることに気づく。</p> <p>○アジア州の事例からで水問題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[第一段階] 地域と水問題についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東アジアでは地盤沈下が発生している。</li> </ul> <p>[第二段階] アジア州の事例の発生理由をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジア州では、人口の集中や経済発展などによって水問題が発生している。</li> </ul> <p>[第三段階] 水問題を地球的課題としてまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水問題は、気候の影響だけでなく経済発展や人口集中などたくさんの要因によって起こり、地球的課題となっている。</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 150px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>主体的学び</p> </div> <p>○大型 TV にスライドで資料を提示する。[本時の主体的な学び⑥]</p> <p>○人口の割合の高さと水資源の割合の低さに着目させる。</p> <p>◇水問題の発生理由について、アジア州の特徴から考えることができたか。</p>

(5) 本時の評価

- ・ アジア州各地で起こっている水問題の発生理由について、意欲的に意見を持つことができたか。  
(主体的に学習に取り組む態度)
- ・ アジア州の水問題について、降水量などの気候や宗教などの文化、経済発展・格差や主要産業などのアジア州の地域的特色に触れながら考察することができたか。(思考・判断・表現)

## 6 思考の構造図

### 【事実に認識の第3段階】

水問題は、降水量などの気候による影響のみならず、産業の変化や人口集中、経済格差、インフラ整備、文化など、たくさんの要因によって引き起こされ、豊かな水・安全な水の確保が地球的課題になっている。

### 【アジア州における事実に認識の第1段階・第2段階】

E アジア各地で様々な水問題が生じているのは、インフラの未整備や文化の問題、克服しきれない気候の問題がある。

- a 地盤沈下（人口増加、工業化、上水道の汚染による地下水利用量の急増、水源の不足）
- b 洪水（気候帯による雨量の多さ、インフラの未整備、農地拡大などの産業優先）
- c 水不足（海水淡水化、近隣国からの購入、南水北調政策、ダム問題、ニューウォーター事業）

A 東アジアでは、過ごしやすい気候や産業発展という理由から、人口集中という特徴が見られる。

- a 気候に合わせた農業が中国で行われ、南部では稲作、北部では小麦栽培が盛ん。
- b 中国やN I E Sを中心に工業が発展し、大気汚染の問題がある。
- c 中国は沿岸部に経済特区などを設け、労働者が集中している。
- d 経済発展により富裕層が増え、生活スタイルに変容が見られる。
- e 黄河・長江といった大河があり、河口部の人口密度が高い。
- f 仏教の広がりが見られ、食事では箸を使用している
- g 季節風（モンスーン）の影響により、四季がはっきりしている。

B 南アジアでは、宗教の名残や産業の近代化という理由から、経済格差という特徴が見られる。

- a 英語と数学の教育水準が高い。
- b I T産業では、時差を利用しインドに支店を出す欧米企業が増加している。
- c 急激な経済発展により、都市部の人口が急増。
- d カースト制度の影響が、職業面など残っている。
- e ガンジス川でヒンドゥー教徒が沐浴を行う。

C 東南アジアは、気候に合わせた農作物の生産や外国企業の参入という理由から、州外との関わりが深まるという特徴が見られる。

- a 熱帯地域で、二期作が行われるなど稲作が盛ん。
- b 欧米諸国による植民地時代の影響からプランテーション農業が盛んである。
- c メコン川などの大河があり、交易が盛んである。
- d A S E A Nにより地域協力が進み、域内の格差是正や域外との自由貿易を図っている。
- e 地方から都市への人口流入を政府が規制する事態になっている。
- f 西アジアの商人による影響からイスラム教、欧米の植民地の影響からキリスト教が広まった。
- g 季節風の影響により雨季と乾季が見られる。

D 西アジアは、世界でも稀な産出国が多いため、資源の輸出によって経済的な豊かさを得ているという特徴が見られる。

- a 乾燥帯で、非常に雨が少ない地域。
- b 石油やレアメタルなどの資源が豊富。
- c 無人鉄道などのインフラ整備が進んでいる。
- d 沿岸部でも砂漠が広がっているため人口密度が低い
- e アラビア語が使われ、イスラム教の信仰が広がっている





学習課題：各地の水問題は、どうして発生しているのだろう。

	発生理由	友だちの意見から
<h1>東南アジア</h1>		

	発生理由	友だちの意見から
<h1>東アジア</h1>		

	発生理由	友だちの意見から
<h1>南アジア</h1>		

	<p>発生理由</p>	<p>友だちの意見から</p>
<p>西アジア</p>		

水問題の発生理由の共通点を書き出そう！

◎アジア州の事例から水問題をまとめよう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

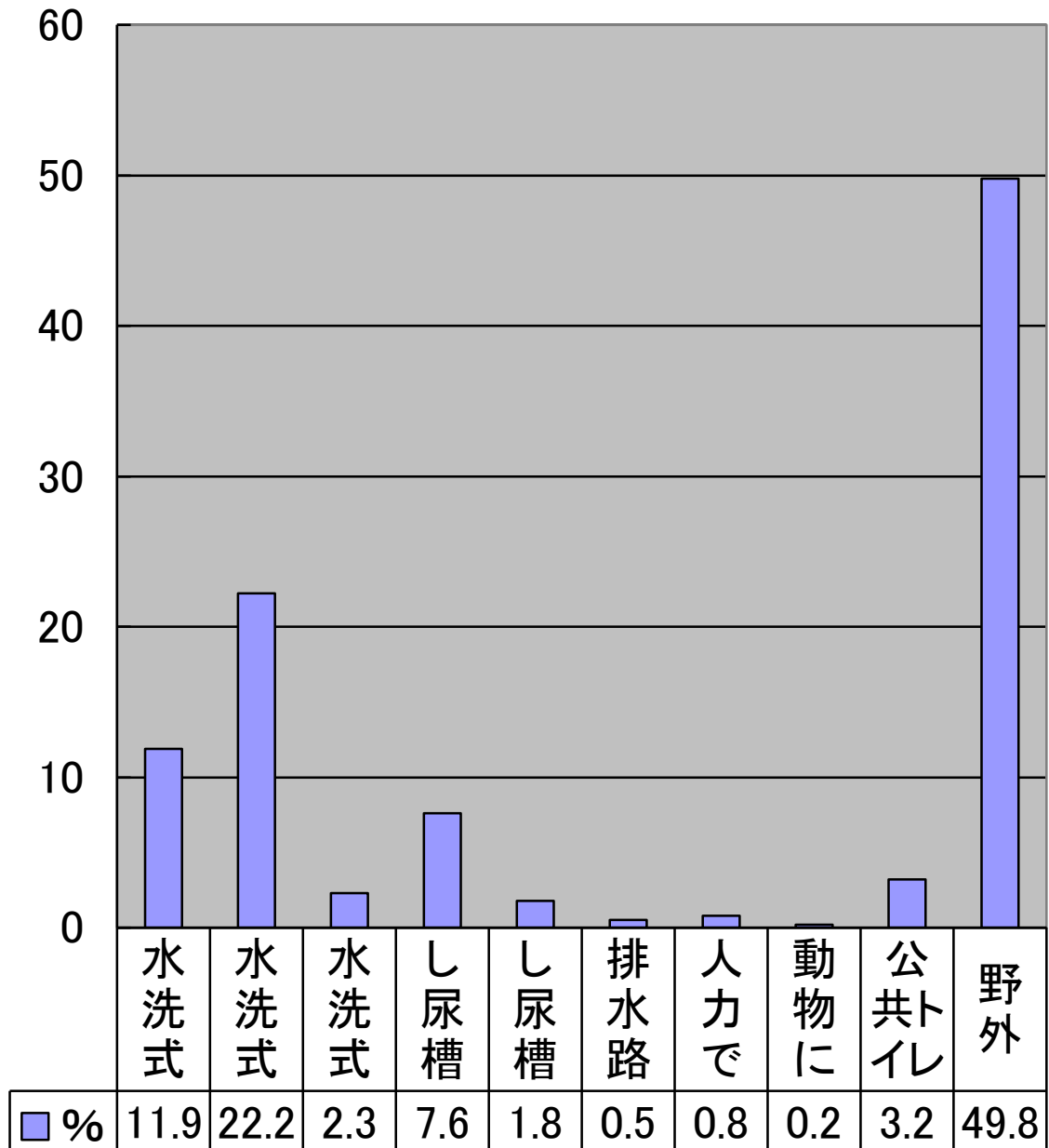
.....

# 洪水についての補助資料



堤防のない河川

# 川の汚染についての補助資料



インドのトイレの形態別割合



# 湖の干上がりについての補助資料



ウルミエ湖周辺の農地